



Title	ブックレット刊行にあたって
Author(s)	平田, 收正
Citation	GLOCOLブックレット. 2016, 18, p. 5-8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55605
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ブックレット刊行にあたって



平田收正 大阪大学グローバルコラボレーションセンター長

GLOCOLの9年間

2007年4月1日付で設置された大阪大学グローバルコラボレーションセンター（以下、GLOCOL）は2016年3月末で丸9年を迎え、文部科学省特別経費（旧特別教育研究経費）「国際協力・共生社会のための実践的教育改革事業」による支援期間である9年間の全期間が終了いたします。

GLOCOLの組織と活動の大部分は、この特別教育研究経費によって運営されており、文部科学省の定めるところの「新たな教育研究ニーズに対応し、各国立大学等の個性に応じた意欲的な取り組みを重点的に支援するため」に措置されたものです。

GLOCOLの設立当初よりの重要なミッションでもあります「国際協力やグローバルな問題に個別に取り組む大阪大学の部局や組織を、文系・理系にかかわらず広く有効に連携させ、文理協働の研究（教育）を行う」ということが、全国的にも先駆けであり、グローバル化した世界の現実について深く理解し、諸課題を取り組むことができる有用な人材を養成することが、現在の大学に求められているのは周知のとおりです。

GLOCOLはこうした要請に応えるため、国際協力と共生社会に関する研究の推進や国際性を備えた人材養成のための教育プログラムの開発などを目的とし、研究・教育・実践を3本柱とした活動を行ってきました。

多岐にわたる活動を大きく分ければ次の3つです。

1. 国際協力グループによる、ベトナムやモンゴル、バンガルデシュなど海外での国際協力に関する実践的な研究活動。
2. グローバル共生グループによる、「足もとの国際化」をキー

ワードとした多文化共生の推進と、そのための国境を越えた草の根レベルのネットワークづくりの活動。

3. 海外体験型教育企画オフィス(FIELD)による、学生・大学院生を対象とした海外インターンシップや海外フィールドスタディなどの教育プログラムの研究・開発・運営。

今までの活動や実績の詳細については当センターで刊行しました年報やブックレットなどにより、大阪大学のアーカイブのサイトでご覧いただけます¹。

これらの活動を実施するためには、学内外とのコラボレーションが必要不可欠です。GLOCOLは、大阪大学内において、国際協力やグローバルな諸問題に取り組む部局や組織を広く有効に連携させ、文理融合の活動を進めてきました。また、学外の国際機関、政府開発援助(ODA)機関、大学研究機関、NGO、市民運動団体や地域住民などと豊かなネットワークを築きながら、官学連携、産学連携、社学連携に取り組んできました。

GLOCOLのこれまでの活動をふりかえるとき、私たちが試行錯誤をしながら取り組んできたことは、「大学のグローバル化」の重要な先行事例として位置づけることができると思います。



1 大阪大学リポジトリ：<http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/journal.html>

連続セミナー「大学とグローバル化」

2016年3月をもってGLOCOLはそのプロジェクト年限9年を終了することになります。9年間の活動のなかで、私たちGLOCOLはどのようにグローバル化に向き合ってきたのか。GLOCOLの活動はどのような規範、モデル、人材をつくりだしてきたのか。プロジェクト終了にあたって、私たちはこれらの問い合わせを設定し、活動の成果や教訓、今後の発展可能性や残された課題を検証し、共有することが必要だと考えました。

以上の問題意識から開催されたのがGLOCOL連続セミナー「大学とグローバル化—大阪大学GLOCOLの9年間の経験から」です。GLOCOLのすべての活動を網羅することはできませんが、連続セミナーでは特徴的な活動について、学内外の報告者コメントーターとともに考える場をつくりました。連続セミナーのプログラムの詳細をここに記します。シリーズ4回で155名ほどの多様な参加者を集め、活発な議論が行われました。



■第1回 アジアの課題と大学の知

日時:2015年11月19日(木)16:30～19:00

場所:大阪大学コンベンションセンター1F会議室1(吹田キャンパス)

■第2回 足もとの国際化と大学

—グローバル時代における社学連携の成果と課題

日時:2015年11月21日(土)14:00～16:30

場所:大阪大学ステューデント・コモンズ カルチャ・ミュルチラ
ング(豊中キャンパス)

■第3回 海外体験型教育プログラムのつくりかた

—GLOCOL・FIELD0の経験・教訓を共有

日時:2015年12月4日(金)17:00～18:30

場所:大阪大学銀杏会館大会議室(吹田キャンパス)

■第4回 グローバルに生きる!はじまりはGLOCOLだった

日時:2015年12月11日(金)16:00～19:00

場所:大阪大学ステューデント・コモンズ カルチャ・ミュルチラ
ング(豊中キャンパス)

本ブックレットは連続セミナーでの報告内容をもとにして編まれています。大学のグローバル化が求められるなかで、大学には何ができるのか、どのような可能性や課題があるのかが、具体的な事例と経験を通じて明らかにされていると思います。本書が、大学や地域社会においてグローバルな諸課題に向き合い、活動を行っているすべての方々に参考され、知見として活用されれば幸いです。

最後になりますが、本セミナーの報告者やコメントーターとしてご登壇いただいた方々、参加者の皆様、そしてセミナー開催にあたってご支援・ご協力いただきました全ての方々に感謝申し上げます。また、GLOCOLの立ち上げから今日まで、多くの協力機関や市民の皆さんのご協力をいただきました。この場をかりて、あらためまして、そのご支援に深く御礼を申し上げるとともに、今後も大阪大学の活動へのご協力をお願い申し上げます。